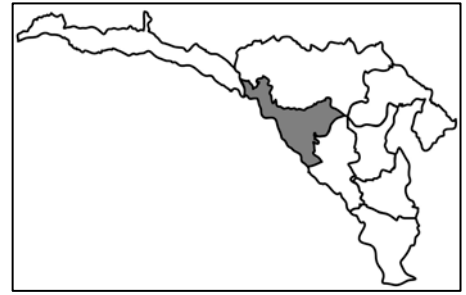


～忠生地域～

◇町目構成◇

忠生、山崎町、木曽町、根岸町、矢部町、常盤町、小山田桜台、木曽西、木曽東、本町田の一部、森野の一部



忠生地域は、町田市西側に位置し、境川に沿って相模原市に隣接する地域です。境川から北東方向に向かって、台地、丘陵地と連続して高くなる地形となっています。

地域内には、町田木曽住宅や山崎団地、小山田桜台団地など大規模な中高層住宅団地があり、区画整理が行われた住宅地が広がるなど、面的に整備されたまち並みが形成されています。しかしその一方で、地域北側の起伏のある丘陵の斜面にはまだ緑が多く残されており、境川や鶴見川の支流の水辺の空間など、それぞれに特徴のある景観が見られます。

①景観づくりのテーマ

1)それぞれの住宅地の特徴を生かした緑豊かなまち並みづくり

基盤の整った住宅地や大規模な団地など、それぞれのまち並みの持つ特徴を生かし、地域内に残された樹林や農地などの緑豊かな環境と調和した住宅地のまち並みづくりを進めます。

2)尾根緑道や河川などの水と緑豊かな環境を重視したうるおいのある景観づくり

市民に親しまれている尾根緑道や境川沿いの良好な農地や樹林を保全するとともに、住宅地などの緑化等を行うことにより、水と緑豊かなうるおいのある景観づくりを進めます。

②景観づくりの作法

<地形>

◇丘陵地、台地、低地が南北に連続した地形

忠生地域は、相模原市との境界付近を流れる境川から北東方向に向かって、台地、丘陵地と連続して高くなる地形をしています。そのため、小山田・小野路方向に丘陵地の尾根の緑が見渡せ、南西には相模原の市街地の向こうに丹沢・大山の山並みを望むことができます。

南西方向に広がる丹沢・大山の山並みや小山田・小野路方向に連なる丘陵の眺望など、忠生地域の特徴的な眺望に配慮し、その眺めを多くの人が共有できる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

見通しのきく坂道・階段／台地と低地の境／高台にある公園・広場 などからの眺望

<農や緑>

◇農地や斜面林のまとまりのある緑の景観

七国山から忠生公園付近を中心に地域北側には、農地や斜面林が多く残り、うるおいのある空間をつくっています。忠生公園周辺は、起伏のある地形によってつくられた谷戸があり、背景の尾根の緑と農地と集落が一体となった風景が見られます。

七国山周辺や忠生公園など、まとまりのある緑の景観を維持・保全するとともに、周辺では、積極的に緑化を行うなど、斜面林や公園の緑と一体となった緑の景観拠点をつくります。

◆配慮すべき景観要素◆

七国山周辺／尾根緑道／忠生公園など

◇尾根緑道

尾根緑道には、桜やケヤキなどの木々が大きく育った並木道が続いています。春夏秋冬それぞれの季節を味わうことができる空間は、憩いの場として多くの市民に親しまれています。緑道からは南西方向に連なる大山・丹沢の山並みや、市街地を見渡すことができます。

尾根緑道の並木道の景観と尾根緑道から望む周囲の良好な眺望を維持・保全し、多くの人々が眺望を楽しめる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

尾根緑道



尾根緑道

<まち並み>

◇基盤の整った緑の多いまち並み

区画整理事業が行われ、基盤整備されたまち並みが広がります。宅地化の進んでいない地域では、農地が残り、まとまった樹林が残されている場所もあり、緑豊かなまち並み景観が見られます。

区画整理が行われ基盤の整った住宅地では、整ったまち並みを生かし、まち並みの連続性に配慮した景観づくりを行います。宅地化が進んでいない地域では、緑の連続性に配慮した景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

忠生地域の住宅地

◇成熟した大規模な中高層住宅団地

小山田桜台団地、山崎団地、町田木曾住宅など大規模な中高層住宅団地では、低層や中高層の集合住宅が整然と建ち並び特徴的な景観が見られます。団地内には公園や緑地も多く、年月を経て樹木も大きく成長しており、身近な緑に囲まれた景観が見られます。

大規模な団地では、大きく育った樹木などをできる限り残し、年月を経て培われた環境を継承します。

◆配慮すべき景観要素◆

小山田桜台団地／山崎団地／町田木曾住宅／境川団地



小山田桜台団地

<河川・水辺>

◇緩やかな曲線を描きながら流れる境川

境川は、相模原市との境界付近を緩やかな曲線を描きながら流れています。川の流れに沿って開放感のある空間が広がり、河川沿いには自転車歩行者専用道路が整備され、川の流れを楽しみながらウォーキングやジョギングを楽しむ市民の憩いの空間となっています。

河川や湧水の周辺では、開放感のある空間を生かし、市民の憩いの空間となる魅力ある景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

境川沿い／湧水池

<沿道>

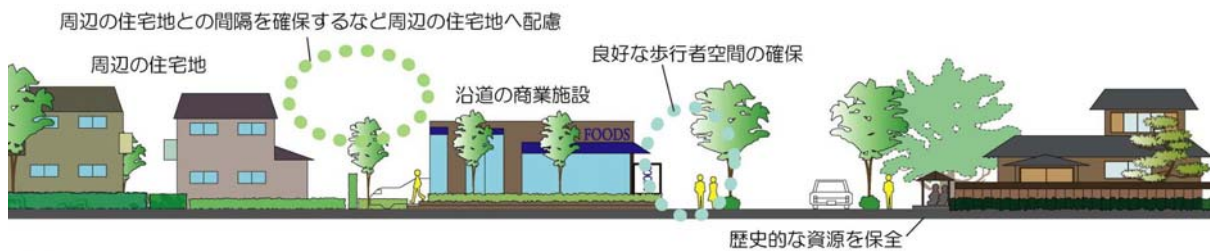
◇商業施設が建ち並ぶ中に歴史の面影を残す町田街道・芝溝街道

町田街道や芝溝街道、町田駅前通りなどの主要な通りの沿道には、住宅や飲食店、物販店など様々な業種の建物が立地し、多様な景観が見られます。特に主要な通りの沿道では、様々な色彩の商業施設や広告物が雑然と並ぶ様子が見られます。北へ向かうと、徐々に沿道に樹木が生い茂る景観が多く見られるようになり、また古い街道沿いには、旧家のたたずまいや地蔵など、地域の歴史・文化の深さを感じさせるたたずまいを残す場所も見られます。

町田街道や芝溝街道、町田駅前通りなどの主要な通りでは、通りからの見え方や周辺の住宅地の環境や歩行者空間に十分配慮した景観づくりを行います。また、街道沿いの旧家などの歴史のある街道の面影を維持・保全し、それらと調和した景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

町田街道／芝溝街道／隣接する周辺の住宅地など



<歴史・文化>

◇地域の歴史・文化を物語る歴史的な景観資源

箭幹八幡宮、小山田1号遺跡、木曾一里塚、鎌倉井戸など、忠生地域には歴史・文化を物語る景観資源が見られます。特に、鎌倉井戸などがある七国山周辺は、歴史的な面影を残す景観が数多く見られます。また寺社仏閣などの周辺では、周辺の緑と一体となった景観が見られます。

箭幹八幡宮などの主要な寺社や文化財の周辺では、周辺の緑の環境と一体となった景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

箭幹八幡宮、小山田一号遺跡、木曾一里塚、鎌倉井戸など



鎌倉井戸

■忠生地域の景観要素図（景観計画の策定の過程で行われた「景観市民調査会」の意見や提案等を参考に整理しています。）

